

第87回優駿牝馬（オークス）《GI》

優勝 ジュウリョクピエロ号

(有)飛野牧場 生産

第87回優駿牝馬（オークス）は5月24日、満員のスタンドが揺れる東京競馬場で行われジュウリョクピエロ（牝3歳）が直線で豪快な差し脚を炸裂させ、世代の女王の座を射止めました。

鞍上は今村聖奈騎手。管理するのは栗東の寺島良調教師。序盤は中団より後ろ、馬群の中でじっくりと脚を溜めたジュウリョクピエロ。1,000m通過はスローペース。向こう正面で少しずつ進出したが、4コーナーではまだ15番手付近。しかし、直線に向いた瞬間、手応えが違った。進路が開くと同時に一気に加速。まるで「重力を操る」かのような伸びで先行勢をまとめて差し切り、2着にクビ差以上の着差を感じさせる完勝を収めました。

ジュウリョクピエロ

口は飛野牧場生産馬。勝利当日は大滝町長、西村和夫組合長を始め関係者が多数祝福に訪れオークス制覇の喜びに酔いました。



第87回 オークス ジュウリョクピエロ 号

調教師 寺島良（栗東）
馬主 近藤 健介
生産者 飛野牧場

牝3歳・栗毛
父：オルフェーヴル
母：ハッピーヴァリュー
母の父：ゼンノロブロイ
母の母：ネームヴァリュー

第72回東京ダービー《JpnI》

優勝 フィンガー号

(有)高橋ファーム 生産

3歳ダート三冠競走の第2戦・東京ダービー（JpnI）が大井競馬場で行われ、羽田盃を制したフィンガー（牡3）が力強い逃げ切り勝ちを収め、見事に二冠を達成しました。スタート直後から積極的に先手を主張したフィンガーは、ライバルとの激しい主導権争いを制してハナを奪取。その後も淀みないペースでレースを引っ張り、直線では1番人気シルバーレシオの鋭い追い込みを封じ込め、堂々と先頭でゴール板を駆け抜けました。厳しい流れの中でも最後まで脚色が衰えなかったスタミナと勝負根性が光る内容。騎乗した戸崎圭太騎手は「この馬の良さを引き出すにはタフな競馬が合う」と思っていました。馬を信じて自分のリズムで運ぶことができた」とレースを振り返り、パートナーへの信頼を口にしていました。

フィンガー号は高橋ファーム生産馬。逃げて押し切る王道の競馬で世代の頂点に立った若き王者が、歴史に名を刻む瞬間は目前まで迫っています。



6月10日（水）大井競馬場
東京ダービー JpnI
右2000m 20:05発走

フィンガー号

馬主 田中 博康（美浦）
調教師 寺島 良
騎手 戸崎 圭太
父：Gun Runner
母：エスティロタレント
母の父：Maclean's Music
生産者 高橋ファーム

写真提供 だいやい 様 <https://x.com/daiyai1208>